

## 西三河支部

## 施設見学会

- 日 時：令和6年8月2日（金）午後1時
- 見学先：(株) 鈴鍵 下山パークパーク  
(豊田市和合町田螺池 245-1)
- 参加者：17名

西三河支部（石山勝範支部長）は、(株) 鈴鍵の下山パークパークへの施設見学会を開催しました。

現地到着後、同社取締役・工事本部長の丹羽庸介氏の出迎えを受け、施設内のバーベキューコーナーへ案内され開会式を行いました。

石山支部長は開会の挨拶で、「本日は大変暑い中（当日の愛知県の最高気温は38℃ほど）、多数ご参加いただきありがとうございました。現在、愛産協の会員数は正会員が591社、そのうち西三河支部は110社です。（R6/7/18 現在）支部事業に参加されない限り、なかなか多くの事業者様と顔を合わせる機会がありません。それで、今回県内の産業廃棄物処理施設をしっかりと把握するために、まず、同支部の事業者様の施設見学会を開催しました。このような活動を通じ、支部会員同志の顔の見える関係づくりを推進し、困ったとき、情報共有したいときなど仕事のネットワークとしてのつながり、さらに適正処理の推進、資源循環（再資源化事業）に向けての後押しとなればと考えております。是非、この機会を学びの場として実り多き施設見学会となることを願っています。」と述べました。

昼食は地産地消の素材を使ったバーベキューをいただき、酷暑の中、おいしい料理で栄養補給をしました。

その後、ブルーベリー農園にてブルーベリーの摘み取り体験をしました。ブルーベリーは完全無農薬・



参加者の集合写真

有機栽培で約2,000本、22種類が同社のたい肥で育成され、試食された方は「大粒でとても甘く、おいしかった。」との食レポがありました。

処理施設見学では、ウッドチップリサイクルシステムを運用し、チップ材を燃料ではなく植物が成長しやすい土壌にするための土壌改良材として利用します。そのために何度も加工している様子を見学しました。たい肥は臭気があると思われそうですが匂いはほとんど感じることはなく、木くずらしい天然の香りがしていました。

次に見学をしたビオトープ公園は、日本ビオトープ協会の「第1回ビオトープ大賞（自然創出部門）」を受賞。また、令和4年度のあいち生物多様性企業認証制度にて「あいち生物多様性優良認証企業」の認証を受けられるなど、先進的な取組は社会的に高い評価を受けています。

公園内は時折緑の風が吹き抜け、一瞬ですがその日の猛暑が和らぐような自然の恩恵を感じました。

見学後、レストランにて質疑応答や感想が述べられ有意義な事業となりました。最後に中嶋政秋委員の閉会の挨拶にて見学会を終えました。



開会の挨拶をする石山支部長



ブルーベリー摘み取り体験の様子



樹木廃棄物のチップ化作業



ビオトープ公園を見学